

千年の森を設置

本町では、町民が森林及び林業への認識を深め、緑豊かな自然とその環境保全を図るため、自然と町民が共生する町づくりを推進しています。

町の貴重な財産である巨樹、巨木林が存在する千年の森として、神子地

区にある建山町有林（鶴田ダム付近）²³・5ヘクタールを指定しました。建山町有林は、杉、松がほとんどで、林齢は、30年から50年ぐらいです。今後は保育計画に基づき、永久に伐採しない森として管理を行います。



千年の森に指定された建山町有林（神子地区）

永野金山歴史調査

40万円

永野金山は、江戸時代の始め（1640年）宮之城島津家四代久通により発見され、その後昭和28年（1953年）まで操業されていました。

高齢化や戸数の減少が心配されるなか、今回、どのような歴史的資料が残っているか調査します。



永野金山坑道入り口

薩摩方面隊を4分団に

平成20年4月1日から消防団薩摩方面隊がこれまでの3分団8部から4分団に再編されます。

また、宮之城方面隊の山崎・二渡・久富木分団の定数等の見直しにより、消防団員の定数を526人から483人に改めます。

分 団 名	部 名	分 団 名
永 野 分 団	第 1 部	永 野 分 団
	第 2 部	
	第 3 部	
求 名 分 団	第 1 部	求 名 分 団
	第 2 部	
	第 3 部	
中 津 川 分 団	第 1 部	南 求 名 分 団
	第 2 部	
		中 津 川 分 団

薩摩地区の3条例 公民館を交流館に

薩摩地区では、宮之城地区、鶴田地区と同様の区公民館制度に移行されることに伴い、求名公民館、永野公民館、中津川

公民館は条例公民館としての機能を廃止し、今後は名称を交流館に改め、活用されます。

上向配水池施設を 隣接地に移設

薩摩中央高校グラウンド近くにある上向配水池施設を、道路改良に伴い、隣の敷地に規模拡大して移設します。

現在のの上向配水池の容量は350トンですが、災害などが発生した場合、自衛隊等の給水拠点となるよう12時間分は最低確保するようとの国・県の指導があることから、今回の移設を機に、最低確保分と消火用水量等を



移設される上向配水池（虎居地区）